フォーラム通信

こどもの森づくりフォーラム
定期リリース
（2024年７月号）

発行：こどもの森づくりフォーラム実行委員会事務局

〒146-0094 東京都大田区東矢口2－6－14 NPO法人子どもの森づくり推進ネット
tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081 Mailto:info@kodomoriforum.net https:www.kodomoriforum.net

フォーラム通信は、「こどもの森づくりフォーラム」の活動を盛り上げ、推進するネットワークづくりを目的に活動を支援する様々な団体や市民との情報共有のために発信します。

（目次）

１．フォーラムに寄せて～子どもの森づくりムーブメントの起こり～
むぎの穂保育園　園長　出原　大氏
２．講師メッセージ
～里山と森林教育～　愛媛大学　農学部　准教授　鍋嶋　絵里氏
３．事例発表者紹介
１）認定こども園　みかんこども園　園長　大野　京子氏
２）認定こども園　カナン子育てプラザ21　園長　伊禮　知代氏
４．連携団体紹介：ＮＰＯ法人みんなダイスキ松山冒険遊び場
５．事務局からのお知らせ

「こどもの森づくりフォーラム in えひめ」開催概要

１．開催趣旨

１）子どもの「非認知能力（生きる力）」を育むための、「自然保育」や幼児期の森林環境教育の機運を高めます。

２）林野と保育・幼児教育関係者、さらに地域住民が連携して、地域における自然保育や幼児期の森林環境教育の支援体制を構築します。

３）フォーラム終了後も、レガシーづくりとして支援を継続します。

２．開催概要

１）開催日：2024年11月30日(土)、12月1日(日)

２）開催地：松山市民会館、えひめ森林公園、えひめこどもの城

３）主　催：こどもの森づくりフォーラム実行委員会
（林野庁、国土緑化推進機構、子どもの森づくり推進ネットワーク、ニッセイ緑の財団、愛媛県、愛媛の森林基金、松山市、伊予市、他、関連する法人、部局から構成）

４）後援（予定）：文部科学省、環境省、こども家庭庁、他、教育関係機関・保育関係団体・森林関係団体等の幅広い後援申請を通して、当該分野への訴求と幅広い告知等を実施。

【フォーラム通信発行について】

●「こどもの森づくりフォーラム」（以下、フォーラム）の開催地での盛り上げを実現するためには、行政、団体、市民等との積極的な連携とネットワークづくりが必要です。そのためには、ネットワークにご参加いただける方々との活動情報の共有が必須です。

●フォーラム通信は、連携ネットワークづくりを推進するためのツールとして、フォーラムの運営に関わる様々な団体の取り組みを紹介し、共有するための定期リリースです。皆様の積極的なご参加をお願い申し上げます。

１．フォーラムに寄せて～子どもの森づくりムーブメントの起こり～

むぎの穂保育園　園長（フォーラム基調講演講師）　出原　大

私は３０数年に亘る保育人生の中で「人は自然の一員」という立場から考え、幼児期の自然あそびを好む子どもたちの姿を大切に支え・見守ってきた。子どもたちは、主体的に自然環境と向き合い、興味・関心を持ってふれる中で生きる力の源泉を養い、自然を好きになり・自然を大切にする心（畏敬の念を持つ）を涵養していく。そこで、我々先達は、子どもたちのためにこの自然体験を保障すべく動かなくてはならない。

「むぎの穂保育園」園庭風景

子どもたちの自然離れが危惧されている昨今、愛媛では「子どもたちを自然に還す」というスローガンを掲げ、園庭をグラウンドから森化するという子どもの森づくりムーブメントが静かに起こっている。

＊＊＊

土壌を考えた植栽/築山の緑化/園庭・里山的アプローチ/

植物あそびにこだわった植栽/既存の森の活用/自然あそびの研修・・・

＊＊＊

今回のフォーラムでは、今、愛媛を中心に着実に広がろうとしているムーブメントに焦点を当て、この動向における現状・課題・展望をつぶさに報告したいと思う。

２．講師メッセージ　～里山と森林教育～

愛媛大学　農学部　准教授　鍋嶋　絵里氏（「分科会２」コーディネーター）

ロープを使って木にのぼるツリークライミングの体験会で、子どもたちを対象とすることがあります。どんぐりの木に登るときは、どんぐりから芽が出て大きな木になるまでには何十年もかかることを話すのですが、驚く子もいます。森林に入る機会がなかなかない今日、そんなことに思いを馳せることもほとんどなくなっているのかもしれません。そして、時間がかかるだけでなく、たくさん落ちたどんぐりの中で再びどんぐりを成らせるような大木に育つのは、確率的にもほんのわずかです。私自身が過去に行った調査では、7年ぶりの豊作の後に出てきたミズナラ（どんぐりの木の一種）の芽生えは、たった3年間で２割近くにまで減少していました。しかし、そんなことは樹木もおり込み済みで、子孫を残すための様々な戦略を持っています。動物や虫に食べられすぎないようにする工夫、一旦地上部が枯れても再生する仕組み…など、長い進化の過程で樹種ごとに多様な戦略を発展させてきました。森の営みは多様性に満ちており、かつ人間にとっては気の遠くなるような時間・空間スケールで、これまで持続的に維持されてきました。

しかし近年、森林では変化が起きています。山は緑ですが、質的な劣化が進んでおり、その原因は森林の利用不足（アンダーユース）によるものです。高度経済成長期に起こったエネルギー革命や地方の過疎化によって、里山林は必要とされなくなり、急激に人が離れていきました。人が入らなくなった里山は、遷移が進行して暗い森になり、暗い環境だけを好む種が残るために生物多様性が大きく低下します。かつて、人が入っていた里山林は明るい場所が多くあり、春には美しい花を咲かせる植物がありましたが、それらの多くは絶滅の危機に瀕しています。また、このような暗い森林は、何かあった時の回復力が遅く、近年の危機であるシカによる食害や蔓延するナラ枯れなどの樹病に対して脆弱な森林ともなっています。

一方でそのもっと昔、江戸時代頃には、過剰利用（オーバーユース）により「はげ山」だらけになり、災害が頻発した時期がありました。オーバーユースの状態では森林の水源涵養機能や土砂災害の防止機能が著しく低下し、人々の生活に大きな影響を及ぼします。そのような状況に比べれば、現在はましだとも言えるかもしれませんが、大事なのは、人間も森林の機能を左右する生態系の一部だということです。里山は人間活動と共に大きく変遷してきました。また、森林を利用する中で育まれてきた文化、森林に関する知恵や経験、そういったものも森林離れによって急速に失われています。気候変動による自然災害の増加が予想される現在、森林との関係性の希薄さはむしろより危機的な状況と言えるかもしれません。

森林教育は、森林との関係性を取り戻す契機とならないでしょうか？生活による利用がなくなった現在、子どもたちの教育の場としての森林利用は、森林にとっても子どもたちにとっても様々な効果が期待できるのではないかと思います。今回愛媛で開催されるこどもの森づくりフォーラムが、そのような新たな森林利用や森林との関係性回復の一端を担うことを期待しています。

３．事例発表者（園）紹介

【事例発表園（者）紹介】「認定こども園みかんこども園」 園長　大野　京子氏

【事務局コメント】園庭を森にしたい！、園庭は、グラウンドではなく『庭』でありたい！をテーマに、「子どもたちがたくさんの自然と触れ合って、からだもこころも育つ」本物の環境と体験を提供する自然豊かな園庭づくりに取り組んでおられます。

●園名	地方裁量型認定こども園 みかんこども園		
●住所	愛媛県伊予市下三谷2439-13 ＊JR鳥ノ木駅より徒歩15分	●Tel:089-989-5805	●mail:yu-iku@eagle.ne.jp
●運営法人名	株式会社遊育	●代表取締役（園長）：大野　京子氏	●定員：73名

●保育･幼児教育理念

- みかんこども園は、子どもたちがたくさんの自然と触れ合って、からだもこころも育つ園庭を目指しています。走るためだけの広いグラウンドはなく、木や草や花、そしてちいさな山やオリジナルの遊具があります。季節を感じながら、いっぱい汚れて、チャレンジして、時にはちょっとケガもして･･･そんな、子どもたちが『今の時期だからできる』体験を重ねられる園庭を考えています。
- 室内での活動も、様々な環境や体験を用意しています。たくさんの経験をしながら育ってほしいという思いで、音楽や絵画造形に触れるようなプログラムもあります。楽しく遊びながら、たくさんの経験をして、自分の好きなことを見つけてほしいと願っています。
- 開園当初は、空き地で草花や生き物もいなかった園庭ですが、今では虫たちも増え、季節ごとにたくさんの虫や生き物が遊びにきてくれています。
  当園は、開設してまだ新しい園ですので、なかなか思うようにはできません。出来る限りの自然を取り入れ、面白くて美しい庭になるよう、職員一同でこれからも少しずつ変化させていきたいと思います。

【園長コメント】何気なく草花を遊びに使い、ベリーやイチゴを見つけるために飛び出して行ったり、夢中になって虫探しをする子どもの姿が見られています。遊びや生活の中に自然が溶け込んできたのを感じます。まだまだ発展途中です。樹木や果樹、草花を増やして、更に子どもの生活や活動が広がるように計画中です。

大野　京子園長

【事例発表園（者）紹介】「認定こども園　カナン子育てプラザ21」園長　伊禮　知代氏

【事務局コメント】「子どもが主人公である」としたキリスト教保育の理念のもと、香川県内に三つのこども園を運営されておられます。多様な樹木が植えられた豊かな園庭は、年齢に応じた自然の体験ができるように植栽によって区切られています。

●園名	幼保連携型認定こども園 カナン子育てプラザ21		
●住所	香川県善通寺市生野本町2丁目16-1 ・ JR 善通寺駅より西へ徒歩13分	●Tel：0877-62-3695	●mail:ka-plaza@axel.ocn.ne.jp
●運営法人名	社会福祉法人カナン福祉センター	●理事長：山本 幾代氏 ●園　長：伊禮 知代氏	●定員：１２０名（保育･教育認定）

●保育･幼児教育理念

- 「生活の主人公は子ども自身である」ことを大切に保育を行っています。
  子どもが遊びの中で心が動く瞬間を持てるように保育者は環境を考えています。また、「自分は大切にされている」「愛されている」「自分は大切にされる価値がある」ことを知り、自己肯定感がもてるようになってほしいと願っています。
- そのために、けんかやかんしゃく、こだわり等の感情を悪いことと捉えるのではなく、子ども自身が納得できるまで保育者が気持ちを聴き、トラブルの場合には子どもたちの仲立ちをしながら気持ちのすり合わせを行っています。
- また、大人の都合で遊びの時間を区切るのではなく、子ども自身が納得して遊びの区切りをつけれるように生活に時間の余裕をもって保育を行っています。
  そのため、食事は11:15～12:30の間に各々が食べたい時にランチルームで食べることが出来るようにしています。

【園長コメント】 自然豊かな園庭になり、樹々や草花等に直接触れる事で心と身体が動き、自然の小さな変化を感じ取る力が豊かになっています。そのような嬉しい事例をお伝えしたいと思います。

伊禮　知代園長

４．連携団体紹介

●ＮＰＯ法人みんなダイスキ松山冒険遊び場

※団体紹介：現在は森のようちえん、フリースクール、自然体験活動、キャンプ、哲学カフェなど子どもに関わる様々な活動を年間通じて実施しています。 ※詳細 ⇒https://asobiba-matuyama.org/

●代表 山本 良子さんからのメッセージ

松山市で遊び場活動（プレーパーク）を開始して18年になります。活動の中で一番大切にしていることは「つながり」の大切さです。多様化する社会の中で、共に育つことの大切さを伝えながら、愛媛の豊かな自然と子どもを繋いでいます。また、フォーラムを通して、地域の多くの皆様に「自然×子ども」という魅力的な関係性を再確認いただき、チーム愛媛を盛り立てていこうと思います。

５．事務局からのお知らせ

１）2024年7月、「こどもの森づくりフォーラム」の公式ホームページが公開されました。

アドレスは下記のとおりです。フォーラムの周知・広報活動にご活用いただけることを希望します。

●「こどもの森づくりフォーラム」ポータルサイト

⇒ https://kodomoriforum.net/

●「こどもの森づくりフォーラム in えひめ」

⇒ https://kodomoriforum.net/ehime/

※右QRコードからもご覧いただけます

２）2024年7月、公式ホームページ公開に合わせて、「こどもの森づくりフォーラム in えひめ」への参加申し込み受付を開始しました。

フォーラムには全国から多くの参加者にご参加いただけることを願っておりますが、事務局としては、共に運営を推進していただいている皆様とそのご関係の方々に、まずはご参加いただきたいと思います。

参加お申し込みは、「こどもの森づくりフォーラム in えひめ」のホームページからお申し込みいただけます。右のQRコードからもお申し込みいただけます。
参加者数が限られておりますので早めのお申し込みをお願い申し上げます。